

議会

125

12月定例議会号

だより

令和3年 2月

発行 佐呂間町議会



TOPIC

佐呂間中学校3年生が町議会を傍聴

特集「中学生が見る議会」

町政について議員が問う

一般質問「令和3年度一般会計及び特別会計の予算編成概要（町長公約事業含む）」など
まちで輝いている人たちを紹介します

みんなの笑顔でまちを元気に！「佐呂間スキー協会」の皆さん

「丑年」

令和3年は丑年です。佐呂間町では人口の5倍以上、約2万6千頭の牛が飼育されています。
(令和2年12月25日撮影・五味孝康さんの牛舎)



さろま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

町議会URL <https://www.town.saroma.hokkaido.jp/gikai/>

第4回定例会

・審議した議案②

第4回定例会

・審議した議案①

【主な歳入】

- ・特定入所者介護サービス費 202万円
- 令和2年度介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)
- 377万円が追加され、予算の総額が2億6248万円になりました。
- 【主な歳入】
- ・一般会計繰入金 ▲340万円
- ・前年度繰越金 717万円
- 【主な歳出】
- ・職員手当等 240万円
- 令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 485万円が追加され、予算の総額が9630万円になりました。
- 【主な歳入】
- ・現年度分普通徴収保険料 208万円
- 【主な歳出】
- ・後期高齢者医療広域連合保険料等負担金 485万円

第4回定例会が12月15日から16日の間で開催され、議案9件、同意1件、意見書1件のほか、第3回定例会で特別委員会に審査を付託した第5期総合計画の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

予算

■令和2年度一般会計補正予算(第7号)

- 1億998万円が追加され、予算の総額が65億5018万円になりました。
- 【主な歳入】
- ・社会保障・税番号制度システム整備費補助金 664万円
- ・土地・建物売却収入 153万円
- ・ふるさと応援事業寄附金 1億1000万円
- ・社会福祉事業寄附金 300万円
- ・学校図書購入費等寄附金 200万円

- ・財政調整基金繰入金 ▲1億6900万円
- ・前年度繰越金 1億5338万円
- 【主な歳出】
- ・福祉事業基金積立金 300万円
- ・ふるさと応援事業基金積立金 4000万円
- ・公金クレジット決済手数料 979万円
- ・ふるさと納税業務代行委託料 5035万円
- ・ソフトウェア使用料 193万円
- ・女満別空港整備・利用促進協議会負担金 60万円
- ・商工業活性化事業補助金 371万円
- ・商工業者経営維持支援事業補助金 248万円

審議した議案

町の今後10年間の基本指針・第5期総合計画
「自然の恵みに感謝し、人が人を支え、共に創る、生涯の郷、サロマ」を議決

◎女満別空港の民営化

【質問】
女満別空港整備・利用促進協議会負担金60万円の内容について伺います。
また、女満別空港は民営化されましたが、民営化しても周辺自治体との関係はこれまでと同じなのか、変更点はないのか伺います。

【回答】
この負担金については、コロナ禍により航空各社が運航を減便していたものを元に戻していくための支援及び、本年2月から女満別と成田間で運航が始まるピーチ・アビエーションの就航誘致に関する支援を行うもので、協議会を組織する北見方面の11市町村が、空港の利用率等にに応じてそれぞれの割合で負担するものです。
女満別空港の民営化の影響ですが、これまでと特に変更点はありません。

◎悠林館の改修工事

【質問】
悠林館改修工事について、新型コロナウイルス感染症対策が目的のようですが、工事の内容は網戸の設置や宴会場の改修など感染症対策に直接関係がないようにも思われます。どの程度の改修を行うのか伺います。
また、悠林館は町の財産であり、その保全のためにはある程度の改修は必要ですが、その費用対効果についてどのように考えているか伺います。

【回答】
今回の改修工事は、北海道スタイルに準じた接客を行うためのもので、悠林館はエアコンの利用を前提としているため網戸が必要ありませんでしたが、感染症対策には換気が重要であり、1時間に1回程度、窓を開け閉めした換気を行うことから、害虫等の侵入を防ぐため網戸の設置を行います。
宴会場については、現在畳敷きの床をカーペットに改修

- ・宿泊業活性化補助金 814万円
- ・悠林館改修工事 376万円
- ・給料(教育費・一般職) 350万円
- ・職員手当等(教育費・一般職) 160万円
- ・消耗品費(小学校) 138万円
- ・燃料費(小学校) 603万円
- ・GIGAスクールサポート業務委託料 116万円
- ・燃料費(中学校) 240万円
- 令和2年度簡易水道特別会計補正予算(第2号)
- 48万円が追加され、予算の総額が3億5364万円になりました。
- 【主な歳入】
- ・介護給付費繰入金 ▲1765万円
- ・前年度繰越金 2163万円

- 令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 6万円が追加され、予算の総額が8億9258万円になりました。
- 令和2年度公共下水道特別会計補正予算(第3号)
- 30万円が追加され、予算の総額が2億4457万円になりました。
- 令和2年度介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 425万円が追加され、予算の総額が5億3019万円になりました。



コロナ禍に対応した営業を行うため改修する悠林館

するもので、多人数での食事の際に、ソーシャルディスタンスを確保するため、食堂と宴会場に分かれて食事を取ってもらっておりますが、高齢者向けに椅子とテーブル等を準備すると畳を傷めてしまうことから改修いたします。
悠林館は、町の施設を指定管理委託により委託業者に経営してもらっておりますが、町の観光の誘客にはなくてはならない施設だと考えており、町による改修についてご理解いただきたいと思っております。

第4回定例会

・町長行政報告

■後期高齢者医療制度における高額介護合算療養費の過大支給
前定例会で報告した過大支給について、64世帯70名に総額54万7932円の過大支給であることが確定しました。対象者の方々は、担当課長職が本人又はご家族に対しお詫びと説明を行うなどの対応を行い、全員から返納に係るご理解とご承諾を得ることができました。

今後このような事態を起さないよう、再発防止と信頼回復に努めてまいります。

■高度無線環境整備推進事業サービス提供開始予定の変更
町内光通信サービス未整備エリアへの光ファイバ敷設事業について、令和3年3月末の供用開始を目指し進めてき

町長行政報告 (要旨)

■令和3年成人式の開催延期
令和3年成人式は、1月10日に開催することで対象成人46名にご案内しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、5月2日に延期させていただきました。延期後の開催期日は、改めて対象成人にご連絡いたします。

■農業
農産物全体の販売額は、農協の販売計画に対し14%増の17億700万円程度となる見込みです。

酪農畜産全体の販売額は、80億6100万円程度となる見込みで、農業販売額全体では、当初計画に対し1.6%上回る97億6800万円程度となる見込みです。

■林業
町有林は造林事業・下刈事業・素材生産事業・除間伐事業などを実施しており、国の補助金を活用しながら継続的な森林資源の保全に努めています。

民有林は森林組合が補助制度を活用しながら、造林事業・

■公共事業の執行状況
本年度、計画しております主な工事と委託の事業件数につきましては、64件を予定しており、現在までの発注状況は62件で7億6100万円、発注率は件数で95%となっております。

事業発注も残りわずかとなり、多くの事業が順調に完了を迎えております。

■漁業
外海ホタテ漁業は、計画どおり1万1000トンほどの水揚げ見込みですが、新型コロナウイルスの影響により消費が落ち込み、平均単価が下落するなど、先が見通せない状況です。

養殖ホタテ漁業の生産数量は、計画どおりの1630トンほどが見込まれ、キロ単価は250円程度となる見込みです。

さけ定置網漁業は、漁獲量は436トンで対前年比7%の増、漁獲額は2億8900万円と、対前年比36%増の水揚げ額となりました。

本年の佐呂間漁業協同組合の総水揚げ額は、対前年比10%減の28億円が見込まれるとのことであります。

■商工業
プレミアム付きふるさと商品券については、11月末現在で1万541セット、1億5811万5000円分が販売されております。

商工業活性化補助金については13件、住宅建設事業補助金は新築1件、増改築16件、トヨタタイヤ販売促進事業は第2四半期まで327本の販売となっております。

新型コロナウイルスの影響に伴い新たに創設した商工業経営維持補助金は、現在まで42件、988万2000円を交付しております。

下刈事業などを実施する見込みで、適切な保護育成が進められております。

第4回定例会

・審議した議案③

条例

■町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正
居宅介護支援事業所の管理者については、平成30年4月から、従前の介護支援専門員から主任介護支援専門員とする変更が行われましたが、人員確保が著しく困難な場合などは、介護支援専門員を管理者とすることができると経過措置が令和3年3月31日を期限として設けられました。

この経過措置の適用を受けている事業所について、令和9年3月31日まで経過措置を延長することが国において決められたことから、関係する町の条例を改正するものとす。

その他

■公有水面埋立
次の区域の公有水面埋立について、異議がない旨を決定しました。

- ①漁港名 浜佐呂間漁港
- ②出願者 北海道知事 鈴木 直道
- ③埋立区域 浜佐呂間859番地、浜佐呂間864番地先の公有水面 752.21㎡
- ④埋立地の用途 漁港施設用地

同意

■固定資産評価員の選任同意
固定資産を適正に評価し、町長が行う価格の決定を補佐する固定資産評価員として、次の方の選任について同意し

第5期総合計画を議決

■第5期総合計画の策定
第5期総合計画は、令和3年度から今後10年間の町の基本指針を定める、本町にとって最も重要な計画です。

意見書

■コロナ禍による地域経済対策を求める意見書
コロナ禍の影響で、中食・外食産業が低迷し、農作物の需要が大幅に減少しており、農業を基幹産業としている北海道では深刻な問題となっていることから、国に対し農畜産物の需要喚起対策などを求める意見書を可決し、関係大臣宛に提出しました。

令和3年第1回定例会は3月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報3月号の折込みチラシをご覧ください。



第4回定例会

・特集 中学生の見る議会②



議会の傍聴は2回目なのですが、ここまで長い時間傍聴したのは初めてで、質問のときに一度だけでなく、何度も問いかけていて、町に対して真剣に考えているのだなと思

影山 公亮さん

身近な問題の
難しさを感じる

今回、議会傍聴を行って、佐呂間の学校を唯一の学校として大切にされていることが分かりました。私は佐呂間高校に入学することを考えているので、すごく手厚く支援されていることに、とてもありがたく感じました。佐呂間高校では中学でやっていた部活を続けることができないのは残念ですが、その分新しい部活に取り組みしてみようと思います。

今部 双葉さん

大切にされている
佐呂間の学校

い、嬉しいし、安心しました。特に高橋議員の質問は自分達にとっても身近な話であり、町のことについて考えやすかったです。ですが、考えやすい話だったからこそ、議会というものがどれだけ難しいことをしているのかを感じることができました。

広い視野を持って
物事を決める

橋本 明佳さん

議会傍聴を通して私は、前の懇談会とは違った緊張感を味わうことができました。内容から特に印象に残ったのは佐呂間高校存続対策についての部分で、入学者本人や保護者、卒業生や在校生など様々な目線に立って対策を考えていかなければならないというところですね。佐呂間高校への入学者数の減少はとても深刻で難しい問題なのだなと強く感じました。

物事を決めるに当たって、広い視野を持つことはとても重要になってくるということが改めて分かりました。

第4回定例会

・特集 中学生の見る議会①



特集 中学生の見る議会

佐呂間中学校3年生が

一般質問を傍聴

佐呂間中学校3年生が「総合的な学習の時間」の一環として、12月15日に行われた町議会第4回定例会の一般質問を傍聴しました。

より町に興味を持った
議会傍聴

藤澤 香椎さん

議会傍聴を通して、町が町長だけでなく教育長や議員で動いているのだと改めて学びました。

町長や教育長に質問される内容は、私達中学生には難しい内容だったと思います。町の状況や経済面を深く知るにはとても良い経験となりました。

ここでは生徒の感想文の一部をご紹介します。(紙面の都合上、感想文の一部を要約しています。)



また、やはり今年は新型コロナウイルスの影響が大きかったのだと、町長のお話を聞いて実感しました。自分の町でも知らなかったことが多く、今日の議会を傍聴したことで初めて知ることがたくさんあり、より佐呂間町に興味を持ちました。

第4回定例会

第4回定例会

・一般質問②

・一般質問①

一般質問

【質問】 来年度新たに実施する佐呂間高校は、第3回定例会での所信表明でも、町に欠かすことができない高校と申し上げました。しかし、昨年度の佐呂間中学校からの進学率の低さに存続へ大きな危機感を抱いており、町から高校への支援は今まで以上に進めなければならぬと考えています。

【質問】 佐呂間高校の存続には、高校関係者や町、地域の有志と

【質問】 現在、町には小・中・高校と続けていける部活が無く、続けていけるのであれば佐呂間高校に進学したいとの意見を聞きませんが、そのような思いに対し町はどのような考えなのか伺います。

【質問】 町外に進学してもこの町に戻ってくる方々や、佐呂間高校を出てこの町に就職する方々への支援こそ、町の定住や人口減少対策につながると思いますが、そのような方々への支援策としてどのような考えがあるのか伺います。

【質問】 前町長は、「佐呂間高校は道立であっても地域『佐呂間』の高校」との考えの下、各種支援を行っていました。新体制となった今、町長の考えを伺います。

【質問】 高校存続のため入学者を増やすには、子供たちに佐呂間高校の魅力を感じてもらい、進学先の選択肢となる必要です。

【質問】 各団体の代表者が集まった「佐呂間高等学校存続対策協議会」を今後定期的に開催し、意見を求めたいと考えています。

【質問】 町外に進学してもこの町に戻ってくる方々や、佐呂間高校を出てこの町に就職する方々への支援こそ、町の定住や人口減少対策につながると思いますが、そのような方々への支援策としてどのような考えがあるのか伺います。



高橋紀久 議員

佐呂間高校存続対策

前町長の『道立でも佐呂間の高校』との考え方に対する新町長の考えは

町長：町に欠かせない大切な高校であり、存続のため今まで以上に支援を進める

【答弁】（町長） 集団で行う部活動が、生徒数の減少などで制限されてしまつのは仕方の無いことですが、小規模・少人数でもできる部活動も生かした中で、地域での支援を考えていきたいと思ひます。

【答弁】（教育長） 小・中・高校一緒の部活動は難しいと思ひますが、地域の人材を活用し、学校の負担を増やすことなく地域の協力を得る仕組みは、今後の検討課題と感じています。



小松正義 議員

町長が公約に掲げた項目で、令和3年度に実施される事業は

町長：佐呂間高等学校卒業生修学応援補助金などの事業について、ふるさと納税等を財源に早期に実現したい

- 若佐歯科診療所治療機器購入事業
- 町合葬墓新設事業
- 地域おこし協力隊設置準備事業
- トップウシバツ川防水対策事業
- 文化講演会実施事業

4名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

【答弁】（町長） 国の令和3年度予算は、財政の厳しい状況を踏まえ、歳出全般にわたり聖域なき徹底した見直しを推進するとされ、総務省の概算要求の概要においては、地方の一般財源の総額について、令和2年度と同水準を確保するとされて

町長が公約(マニフェスト)として掲げた項目で、令和3年度事業の中で実施される事業概要及び予算について伺います。

- 【答弁】（町長）** 令和3年度に予定している私の公約を含めた新規事業といたしましては、次のとおりです。
- 佐呂間高等学校卒業生修学応援補助金
 - 佐呂間高等学校卒業生就職等応援給付金
 - 佐呂間高等学校入学生修学給付金
 - 学校給食費の無償化
 - 高齢者ハイヤー乗車料金助成事業
 - 入退院時等交通費助成扶助費

【質問】 令和3年度の本町の一般会計及び特別会計の予算編成概要について、コロナ禍の中、東京オリンピック・パラリンピックの開催となると国の財政がひっ迫してくることも予測されますが、この影響を予測した予算概要であるのか、大枠的なものしか出せないと思ひますが伺います。

【答弁】（町長） 本町の令和3年度の予算につきましては、地方交付税の減額や新型コロナウイルス感染症の拡大が町税収入にどの程度の影響を与えるかが見えない中、老朽施設の長寿命化事業や道路、上下水道などインフラ事業に多額の財源を要することから、令和2年度の経常経費を上限としたマイナスイノベーションを指し、限られた財源と人員の中で最大の事務事業効果を発揮するよう取り組んでまいります。

【質問】 町長が公約(マニフェスト)として掲げた項目で、令和3年度事業の中で実施される事業概要及び予算について伺います。

【質問】 財源としてふるさと納税を活用とありますが、ふるさと納税の状況がこのまま続くと不安があり、今後ふるさと納税に対する取り組みを進めて行かなければと思ひますが、考え方について伺います。

令和3年度一般会計及び特別会計の予算編成概要(町長公約事業含む)

以上の新規事業でおおむね7500万円程度の予算と見込んでおり、ふるさと納税等の財源を活用して健全な財政運営を基本とした中で、町民の付託に答えるため早期に実現したいと考えています。

第4回定例会

・一般質問④

【答弁】(町長)
 地域おこし協力隊の導入については、平成29年第1回定例会で三田議員から質問があり、導入の可能性を検討するとの回答がなされていましたが、その後、本町では進展していませんでした。
 私はまちづくりにおいて外からの視点は重要な要素の一

【質問】
 町外で生まれ育った方に地域おこし協力隊として来ていただき、町民では気が付かないこの町のいいところを引き出してもらうことで、町に新しい風が吹き、活気も湧くと思いますが、地域おこし協力隊の導入について町長の考えを伺います。

地域おこし協力隊の導入



三田真美 議員

町民では気が付かない町のよさを引き出す
地域おこし協力隊を導入する考えは
町長：地域おこし協力隊は移住・定住に有効な方策、令和4年4月からの受け入れを目指す

つであると考えています。また移住・定住においても地域おこし協力隊の受け入れは非常に有効な方策であると考えています。地域おこし協力隊の受け入れにおいて最も重要なのは、受け入れ期間が終了した3年後の姿、協力隊員の地域への定住という目的を明確にし、必要なミッションとミッションを正確に提示し、共有していくことだと考えております。
 これらのことをしっかりと整理したうえで、令和4年4月からの地域おこし協力隊受け入れを目指して、令和3年度当初予算に協力隊員募集に係る予算を計上させていただきたいと考えております。

「地域おこし協力隊」とは、過疎地域等の地方公共団体が都市部の人材を誘致し、地域おこし協力隊員として委嘱する国の制度。隊員はおおむね1年以上3年以下の間、その地域に居住し、各種地域協力活動に従事する中で、地域への定住・定着を図ります。
 地域おこし協力隊の令和元年度の導入実績は、全国1071団体、5349名となっており、そのうち北海道では157市町村、605名、オホーツク管内では15市町村、60名となっています。
 地域おこし協力隊に取り組み自治体は、隊員の活動に要する経費に対して国から特別交付税による財政措置が受けられます。

合同墓の設置

【質問】
 本町では少子高齢化による人口減少により、今あるお墓の維持管理が難しくなっています。
 近隣の市町村では、血縁に関係なく複数の人を一緒に埋葬する合同墓の整備が行われていますが、町長の考えを伺います。

【答弁】(町長)
 合葬式のお墓は、霊園などによって様々な呼び方がありますが、一般的には合葬墓と呼ばれており、オホーツク管内では2市8町で整備されています。
 合葬墓の整備については、平成30年第2回定例会で三田議員から質問があり、検討するとの回答がなされていましたが、その後第5期総合計画策定に係る町民アンケートでの要望や、自治会からの要望もあったことから、令和3年度に整備を計画しており、今後管理・運営方法を整理していきたいと考えています。

第4回定例会

・一般質問③



但木早苗 議員

新型コロナウイルス感染症の町の対応

町民が新型コロナウイルス感染症の該当者となった場合の町の対応は
町長：感染症対策は保健所が主導して行うため、町民が該当者となっても町には情報が入らない。

【質問】
 新型コロナウイルス感染症の発当初、感染が疑われる場合「先ずは保健所へ連絡を」でしたが、今は「かかりつけ医に」と変わりました。
 今はいつ、どこで、誰がかかっても不思議ではないという状況の中で、ただ漠然とした不安を持って日常生活を送っていますが、その「かかりつけ医」を受診した先がどうなるのか、道筋が分かるとその不安も少しは解消されるのではないかと思います。町民が該当者となった場合の町の対応について伺います。

【答弁】(町長)
 「かかりつけ医」に相談した後、発熱外来のある医療機関等にて感染の疑いがあると判断された場合、保健所からPCR検査が可能な医療機関の受診調整が行われ、本人へ検査日程が指示されます。
 このPCR検査の結果を経て、新型コロナウイルス感染症の該当者となった場合、入院・宿泊療養・自宅療養の判断は保健所の指導の下で行われます。
 感染症予防は保健所が主導して行っており、町民が該当者となっても町には何の情報も入ってきません。

【質問】
 厚労省が、高齢者施設の入所者または介護従事者等で発熱等の症状がある人については、必ずPCR検査を実施する

【質問】
 国では、令和元年度から高齢者世帯に対する「ゴミ出し支援」を実施した市町村に対しては、特別交付税措置がとられていますが、本町の「ゴミ出し困難世帯」を把握しているか、また「特別交付税措置」を受ける場合、特別交付税措置を受けて支援を行う考えがあるか伺います。

高齢者世帯に対するゴミ出し支援

【答弁】(町長)
 「ゴミ出し困難世帯」の把握は行っていません。
 現状で新たな支援を行う考えはなく、個別のケースに応じて都度対応を検討していきたいと考えています。

議会ニュース

・総務福祉常任委員会現地調査

第4回臨時会

第4回臨時会が11月27日開催され、議案9件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

- ・審議した議案
- ・町長行政報告



猛暑となっても熱中症のリスクが減った佐呂間保育所

佐呂間保育所にはこれまで一部の教室にしかエアコンが設置されていなかったことから、すべての教室と子育て支援センターにエアコンが整備されました。

佐呂間保育所

総務福祉常任委員会では、今年度整備が行われた町内5カ所の公共施設を、令和2年12月1日に現地調査しました。

総務福祉常任委員会現地調査



夏も快適に遊べるようになった児童館のプレイルーム

公園の開設当初から設置されている遊具が老朽化したため、今年度は総合滑り台と

児童公園

児童館のプレイルームは東面、南面が全面ガラス張りであり、夏は直射日光により部屋が高温となることから、エアコンが設置されました。

児童館



子供が安全に遊べるように遊具が更新された児童公園

町外医療機関への送迎が必要な透析患者が増加したこと

人工透析患者送迎車



車両の購入に伴い車庫も新設された人工透析患者送迎車



主に若年の職員が入居する新しい職員住宅

シーソーの更新工事が行われました。

職員住宅

町の職員住宅は、クリニックさろまや安心ハウスの建設の際に、建設用地を確保するため一部が解体され数が減少し、既存の職員住宅も老朽化していることから、1LDKの2棟4戸が新たに建設されました。

予算

令和2年度一般会計補正予算(第6号)

232万円が減額され、予算の総額が64億4019万円になりました。

【主な歳入】

・財政調整基金 ▲300万円

【主な歳出】

・職員手当(一般職) ▲135万円

令和2年度簡易水道特別会計補正予算(第1号)

5万円が減額され、予算の総額が3億5315万円になりました。

令和2年度公共下水道特別会計補正予算(第2号)

3万円が減額され、予算の総額が2億4427万円になりました。

審議した議案

令和2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

2万円が減額され、予算の総額が5億2593万円になりました。

令和2年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

23万円が減額され、予算の総額が2億5871万円になりました。

条例

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

特別職の給料額及び旅費額並びにその支給条例の一部改正

職員の給与に関する条例の一部改正

第1号会計年度任用職員

の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

これらの4件については、令和2年度人事院勧告に基づく国の対応に準じて、町職員等のボーナス(期末手当)の改定を行うため、関係する町の条例を改正するものです。

人事院が昨年8月から本年7月までの直近1年間の民間と公務のボーナス支給状況を比較したところ、公務の支給月数4.50月に対して、民間の支給割合が4.46月であったことから、公務員は4.45月とし0.05月引き下げます。

なお、今回の臨時会で提案されている補正予算は、全ての条例改正に伴う期末手当の削減による予算の減額補正です。

「月例給の改定」

例年人事院勧告では月例給に関する勧告も行われますが、令和2年度においては公務と民間の給与の差が極めて小さいことから、月例給の改定は行わないこととなりました。

町長行政報告 (要旨)

■家畜伝染病サルモネラ症の清浄化

8月に町内の酪農家2件で発生した家畜伝染病サルモネラ症について、10月5日・19日に2回続けて牛及び牛舎等施設環境の検査を行ったところ、全て陰性となったことから清浄化しました。

伝染病の発生から清浄化までに要した治療費・消毒薬品代・検査料については、町家畜自衛防疫組合が全額支援することとなりますが、町がこの支援事業費の4分の1を補助いたします。今回伝染病が2件発生したことから、町家畜自衛防疫組合の会計に不足が生じる場合は、町の補正予算により対応したいと考えています。

議会ニュース

- 産業文教常任委員会現地調査
- 議会の活動状況

議会ニュース

- 産業文教常任委員会現地調査



来年度以降に橋面や防護柵の改修が行われる共立橋



上佐呂間地域と若里地区の一部の水道を賄う栃木浄水場



歩行者の安全確保のため改修されたスター玄関前の階段

産業文教常任委員会現地調査

産業文教常任委員会では、今年度整備が行われた町内6カ所の公共施設を、令和2年12月2日に現地調査しました。

武道館・温水プール

武道館・温水プール正面玄関前の外階段が、凍害や経年劣化により損傷が進んだことから、全面的な改修工事を行いました。

富武士漁港 公衆トイレ

経年劣化による木造外壁のはがれ、腐食などが見られたことから、外壁改修及び屋根の防水工事を行ったほか、和式トイレを洋式トイレに変更する工事が行われました。

夕陽が丘道路

佐呂間小学校のおはようトンネルの入口手前から線道



快適に利用できるようになった富武士漁港公衆トイレ

藤見橋

路に向かう町道で、凍害による道路の傷みが大きいことから、今年度は路線の半分ほどが整備されました。

共立橋

北海道が実施している佐呂間富丘間道路の藤見橋架け替え工事に伴い、橋に添架されている町の水道管3本を、新しい橋に移設する工事が行われました。

栃木浄水場

町が実施する若佐簡易水道



来年度以降残りの整備が行われる夕陽が丘道路



新しい橋が完成し通行が可能になった藤見橋

議会の活動状況

令和2年11月～令和3年1月

令和2年11月

- 11月2日(月) 第10回石北本線部会(北見市)
- 11月17日(火) 佐呂間高等学校存続対策会議(佐呂間コミセン)
- 11月27日(金) 議会運営委員会
- 町議会第4回臨時会
- 第6回全員協議会
- 第5期佐呂間町総合計画審査特別委員会
- 議会活性化等特別委員会
- 第4回基本条例小委員会

12月4日(金)

- 第4回遠軽地区広域組合議会定例会(遠軽町)
- 12月14日(月) 議会運営委員会
- 12月15日(火) 町議会第4回定例会
- 第7回全員協議会
- 産業文教常任委員会
- 12月16日(水) 議会運営委員会
- 町議会第4回定例会
- 議会広報特別委員会
- 第5回基本条例小委員会
- 12月22日(火) オホーツク町村議会議長会役員会(網走市)

1月25日(月)

- 北海道市町村職員退職手当組合第1回定例会(札幌市)
- 1月27日(水) 第6回基本条例小委員会

令和2年12月

- 12月1日(火) 総務福祉常任委員会及び現地調査(※詳細は13ページ)
- 12月2日(水) 産業文教常任委員会及び現地調査(※詳細は14～15ページ)

令和3年1月

- 1月20日(火) 第1回全員協議会
- 議会運営委員会
- 町議会第1回臨時会
- 町立診療所に関する特別委員会
- 議会活性化等特別委員会
- 議会広報特別委員会

事業内容変更のお知らせ

議会だより124号の12ページ、第3回臨時会「町がこれから実施する新型コロナウイルス感染症対策」に関する記事の中で、移动式スポーツクーラー36台を購入し、各学校に配置する事業についてお知らせしましたが、令和2年12月2日に開催した産業文教常任委員会において、スポーツクーラーの全国的な需要増加により在庫がなく、入札が実施できないため、代わりに消毒液生成装置を購入し、各学校に配置したと教育委員会から報告がありましたのでお知らせします。

町で輝いている人たちを紹介します



みんなの笑顔で まちを元気に!



Vol.28 「佐呂間スキー協会」

佐呂間スキー協会は、会員相互の親睦とスキー技術の向上並びに健康増進に資することを目的に、昭和49年12月に設立されました。主な活動として、基礎スキーの講習、検定会の開催、教育委員会が主催するちびっこスキー教室などイベントでのスキー指導を行っています。

スキーは一人でも大勢でも楽しめるスポーツで、冬場の運動不足解消、スキー場を滑走する爽快感はストレス解消にも適しています。

昨年・一昨年は降雪不足によりスキーができる期間が短くなり、今シーズンも新型コロナウイルス感染症対策等により、各種教室が縮小・中止になる場合もあると思います。が、ぜひスキー場で景色やスピード感を満喫し、楽しんでいただきたいと思います。

また、スキー協会では新規会員を随時募集しています。一緒にスキーを楽しみ、活動していただける方をお待ちしています。



(※写真は今年のちびっこスキー教室です)



議会のついで

令和2年は新型コロナウイルスに始まり、収束の見通しが不明なまま年を越え、現在に至っています。

今後もしばらくは新型コロナウイルスに負けないようにしなければなりません。特に高齢者については感染すると重症化しやすいため、なるべく3密を避け体調には十分気をつけなければいけませんし、不要不急の外出は控えるべきです。

昨年末から数年に一度の寒波が日本上空に居座り、12月としては観測史上最低の気温となったところもありましたが、わが町でも最近では感じられたことの無い寒さとなり、1月上旬にはサロマ湖に氷が張っていました。

本格的な冬を向かえ、大雪などに皆さん気をつけましょう。



船木 司

編集	佐藤 昭男
委員長	三田 真美
副委員長	小松 正義
委員	土田 剛
委員	山内 一弘
特別委員	

令和3年2月発行

発行 佐呂間町議会

〒093-0592 北海道常呂郡佐呂間町字永代町3番地の1
 ☎01587-2-1291 FAX 2-33368 (役場兼)